

鳥居さくや県政レポート vol.1



いよいよ、令和という時代がはじまりました。新しい時代、AIという人工知能の発達は、我々の生活を一変させます。便利な世の中になるということでもあります。しかし、便利という言葉の裏には、合理化、効率化という言葉が隠されています。その中で、人が人を支える、人と人が足りないところを補い合う、福祉と奉仕、その心を守っていかなければなりません。政治が試される時代であります。

6月30日（日）、鳥居さくや県政報告会を開催させて頂きました。福島県予算の推移などについて、その現状、問題点などをお話しさせて頂きました。今回の県政たよりでは、その内容をご紹介します。

震災前後の県当初予算の推移について

（平成22年から平成31年・令和元年）

（単位：百万円） （単位：人）

年度	当初予算総額	うち通常分	うち復興・創生分※	推計人口(4/1現在)
H22	902,220	902,220	0	2,032,302
H23	900,034	900,034	0	2,014,603
H24	1,576,352	850,845	725,507	1,969,852
H25	1,731,970	815,163	916,807	1,949,595
H26	1,714,513	844,034	870,479	1,937,530
H27	1,899,421	870,764	1,028,657	1,926,961
H28	1,881,925	843,564	1,038,361	1,903,383
H29	1,718,373	843,334	875,039	1,886,317
H30	1,447,212	829,387	617,825	1,867,150
H31	1,460,328	860,217	600,111	1,848,516

（※平成28年度まで、震災・原子力災害対応分）

上記表からわかる様に、平成24年度当初予算から通常分に加え復興・創生分が上乘せされ2階建ての予算となっております。そんなこともあり、福島県の当初予算は、平成27年度、約1兆9,000億円をピークに、今年度は、1兆4,603億円の予算となっております。

だいぶ小さくなりましたが、今年度の1兆4,603億円という予算、他の都道府県と比べてどのような数値なのか見てみたいと思います。

福島県の平成30年度の当初予算ですが、全国都道府県で、10番目に高い予算となっております。福島県の人口が、186万人であり、その同程度の人口規模を有する県は、岡山県、三重県となっております。この2県の当初予算はそれぞれ、約6,800億円、約7,000億円となっております。

また、「一人当たりの財政規模」というのがあります。これは、簡単に言うと、一年間で県の予算総額を、県の人口で割った数値であります。福島県の、「一人当たりの財政規模」は1,033,705円で、全国1位、尚、全国2位の岩手県は、791,638円となっております。どれだけ福島県の予算が高いか、ご理解頂けるかと思えます。因みに、通常分の福島県予算、一人当たりの財政規模は、約46万円であります。

以上、福島県の県予算の概要を説明しましたが、予算が高いというのが、問題ではありません。この数年、加速度的に減少しているというのが問題であります。一度、大きく膨れ上がった予算を、今度は、縮小していく作業が、今後の県、県議会に課せられています。これこそが、非常に難しく、デリケートな問題であります。予算の考え方、在り方が試される時代が訪れます。私は、その一つのヒントは、民間のチカラにあると思えます。行政には行政の役割、民間には民間のチカラ、アイデアがあります。それらを効果的に結びつける、このことも、新しい時代の政治のあり方、役割だと思えます。今後も、アンテナを高く広く張って、新しい時代の新しい政治のあり方を探求していきたいと思えます。

今後とも、あらゆる機会を通じて、県政の課題、私の考えなどご報告させて頂きまので、よろしくお願ひ致します。裏面には、先日行われました県議会6月定例会の概要をご報告致します。

令和元年度 6 月定例会の概要

令和になってはじめての、6 月定例会が 16 日間の日程で開催されました。一般会計における補正予算の総額は、75 億 9,800 万円の増額となり、本年度予算の累計は、1 兆 4,679 億 2,600 万円となります。

その主な内容は

- ・J ヴィレッジの全天候型練習場の改修
- ・3 年にわたって展開される「日本博」を契機としてイベントの開催、外国人観光客の誘客の促進
- ・河川、道路の整備推進や農業用水利施設の更新
などに要する予算であります。

この補正予算の財源は、

- ・地方交付税 1 億 7,900 万円
- ・国庫支出金 38 億 9,800 万円
- ・繰入金 5,300 万円
- ・県債 35 億 7,200 万円
となります。



四方山話 ～福島県の誕生～

福島県は、明治 9 年（1876）8 月 21 日、福島県、若松県、磐前県が合併して誕生しました。その後、明治 11 年（1878）1 月 4 日、福島県民会規則が公布されました。その年の 6 月には、第一回の福島県議会が開催されました。その第一回県議会の冒頭、山吉盛典県令は、「県会議員たるもの、思想言論は我県下 7、80 万余人の利害干渉するものにて、其の責任たる浅少に非ざるなり。」と述べました。まさに、我々の原点であります。改めて身の引き締まる思いであります。